



令和4年9月30日

航空局 安全部

空港安全室

「空港の安全に関わる情報(令和3年度)」の公表

～「第9回空港安全情報分析委員会」の結果概要～

令和4年8月3日(水)に、第9回空港安全情報分析委員会を開催し、空港の安全に関わる情報の報告(令和3年度)について審議しましたので、その結果概要を公表いたします。

1. 空港安全情報分析委員会について

平成26年4月より適用された「航空安全プログラム」により、安全情報注)を収集するための報告制度を導入いたしました。この制度により、空港管理者は安全上の支障を及ぼす事態が発生した際、関連情報を収集し航空局へ報告しなければならないことになっています。

国土交通省では、報告された安全情報についての分析及び公表を適切に実施するため、本委員会を毎年開催しています。(委員名簿は別紙1参照)

注)「安全情報」とは、航空事故や重大インシデント及びその他の安全上の支障を及ぼす事態に関する情報を指します。

2. 議事概要

(1) 航空局より空港の安全の取組みを報告しました。

(2) 令和3年度に空港管理者より報告された安全情報について、評価・分析を行いました。当該安全情報について取りまとめを行い、安全監査実施状況と合わせて、その内容を「空港の安全にかかわる情報(令和3年度)」として公表することとしました。本報告は以下のURLより入手可能です。(概要は別紙2参照)

http://www.mlit.go.jp/koku/koku_fr9_000016.html

【問い合わせ先】

国土交通省 航空局 安全部

空港安全室 多田、高島

代表:03-5253-8111 (内線:49554、49565)

直通:03-5253-8701 (空港安全室)

FAX:03-3580-5233

空港安全情報分析委員会 委員名簿

(敬称略)

(委員長)

福手 勤 東洋大学 名誉教授

(委員)

垣本 由紀子 日本ヒューマンファクター研究所 顧問

小松原 明哲 早稲田大学理工学術院創造理工学部経営システム工学科 教授
(交通管制安全情報分析委員会 委員長)

小野 正博 国土技術政策総合研究所 空港研究部長

(特別委員)

河内 啓二 東京大学 名誉教授 (航空安全情報分析委員会 委員長)

(オブザーバ)

定期航空協会

(航空局)

平井 一彦 航空局 安全部長

堀江 信幸 大臣官房参事官 (安全企画)

木内 宏一 大臣官房参事官 (航空安全推進)

木原 正智 航空局安全部安全政策課空港安全室長

鈴木 一永 航空局安全部安全政策課航空交通管制安全室長

「空港の安全に関わる情報(令和3年度)」(要約版)

1. 安全に係る情報の発生状況

令和3年度において、空港管理者から報告のあった、空港の設置者が管理する施設又は運用に起因する又は起因して発生した航空機事故・重大インシデント及び安全上の支障を及ぼす事態の安全情報は以下のとおり。

1-1 空港の設置者が管理する施設又は運用に起因する又は起因して発生した航空機事故・重大インシデント

(1) 航空事故 : 0 件

(2) 重大インシデント : 0 件

1-2 安全上の支障を及ぼす事態

単位: 件

	令和3年度													合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
安全上の支障を及ぼす事態	4	4	6	8	5	6	9	7	4	8	7	7	75	
制限区域内事故	2	3	3	2	2	3	1	5	2	4	1	4	32	
施設・設備の破損	1		2	5	1	1	3	0	1	1	4	0	19	
無許可・誤進入	1	1	1	1	2	2	5	2	1	3	2	3	24	
空港道路の管理不備													0	

1-3 安全上の支障を及ぼす事態内訳

(1) 制限区域内において、地上での作業又は地上の施設若しくは物件に起因する人の死傷、又は航空機が損傷した事態

単位: 件

	令和3年度													合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
制限区域内事故	2	3	3	2	2	3	1	5	2	4	1	4	32	
作業員の死傷	1	2	3	2		1		2	1		1	1	14	
旅客の死傷								2					2	
航空機の損傷	1	1			2	2	1	1	1	4		3	16	

(2)施設、設備、機器等の突発的な不具合や損傷により航空機の正常な運航に安全上の支障を及ぼす事態

単位:件

	令和3年度													合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
施設・設備の破損	1	0	2	5	1	1	3	0	1	1	4	0	19	
舗装破損	0	0	1	3	1	1	0	0	0	1	0	0	7	
消火能力の低下	1	0	1	0	0	0	2	0	1	0	2	0	7	
その他	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	2	0	5	

(3)誤った操作、運用により航空機の正常な運航に安全上の支障を及ぼす事態

単位:件

	令和3年度													合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
無許可・誤進入	1	1	1	1	2	2	5	2	1	3	2	3	24	
無許可進入	1	1	1	1	1	1	4	2	1	3	2	2	20	
誤進入	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	3	
その他	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	

(4)構内道路の管理不備

事案なし(0件)

2. 安全に関わる情報の評価・分析と今後の対策等

第9回空港安全情報分析委員会において、令和3年度の空港安全情報について審議した結果、それぞれの事案について関係者により再発防止等必要な対応がとられており、事案の減少に寄与している舗装破損に係る予防保全の優良事例や、丁寧に分析された事事情報について、引き続き水平展開し、関係者間で情報共有を行っていくことが重要であると確認されました。

また、空港区分に着目した安全情報の分析及び、安全上の支障を及ぼす事態に対する的確な対応、令和4年度航空安全プログラム実施計画に掲げた安全指標・目標値の達成に向けた取組、並びに安全監査における不適切事項の減少に資する取組、地方空港への研修等、更なる空港の安全確保に向けた取組を進めることが必要であるとの評価を頂きました。

なお、安全監査実施状況について、過去の定期検査における不適切事項が着実に改善している状況を説明しました。